



日向ぼっこ
法学部2年 新島 勇紀



発行所
北海道大学生協同組合
札幌市北区北8条西7丁目
教職員委員会編集
電話 011-746-6218

主な記事紹介

- 三画 大学文書館へ行く 第10回
- 四画 五画 北大生協 店舗利用のご案内
- 八画 北大生協きぼうの虹フォトコンテスト開催!!

北海道文書館 井上 高聡

札幌キャンパスは新緑の季節となり、数カ月前に我々の生活を不安におとしめた忌々しい天気のことには忘れ去られようとしている。2021年末〜2022年にかけての札幌の冬は特異だった。長期積雪（いわゆる根雪）の開始は平年より11日遅く、暖かい冬の始まりだったのだが、根雪初日の12月17日はいきなり50cmの大雪で瞬く間に銀世界となった。1月中旬の大学入試共通テストの週には再びまとまった降雪があった。11日夜から翌朝にかけて低気圧が暖湿な空気を伴って北海道を通過したため、降雪中も気温はずっと0℃付近で推移し、湿った重い雪が降った。朝スコップを新雪に挿すと、いつもと違うシャリッという音がして、一旦手が止まったものの、新潟の豪雪地で育った筆者は地元の雪を思い出しながら黙々と雪かきに勤しんだ。しかしそれは2月の雪害の前触れにすぎなかった。2月5日夜と6日昼には除雪が間に合わないほどの強い降り方となり、市内の大きな道路でさえ車がスタックする事態となり、大規模な渋滞と鉄道の運休はしばらく続いた。その後、幹線道路の排雪が進み、「生活道路もそろそろだね」などと明るい兆しを感じられた頃、次の大雪がやってきた。2月20日から22日にかけては台風並みに発達した低気圧によ

筆者は気象学を研究しており、札幌で10余年の生活を経てようやく札幌の天気が分かるようになってきた実感があった。しかし、これまでの雪害となった理由を説明することは簡単ではない。前述した個々の事例について言えば、どれも大雪となるような典型的な条件であり、大雪となったこと自体は納得できるが、それにし

天気と格闘する日々

北海道大学
大学院地球環境科学研究所
統合環境科学部門
自然環境保全分野 准教授

佐藤 友徳



Opinion!

り冬型の気圧配置が強まり、連日の猛吹雪。降雪もさることながら吹き溜まりが顕著な事例であった。21日に札幌圏のJRが終日全線運休となったほか、雪雲は日本海から千歳方面へと連なり、22日の新千歳空港は全便欠航となった。

でも降雪量が多かったことが引つかる。地球温暖化が進行すると平均的な積雪の深さは減少していくものの、いわゆるドカ雪が無くなることは当面ないと予測されている。また、北海道では湿った雪が強くなるとの研究もある。今回の大雪に地球温暖化の影響が含まれているのか、あるいは自然変動の一部だったのか、詳細な調査が切望される。大雪による社会への影響を議論する場合には、気象学が対象とする降雪の強さや積雪深のような現象の特異性だけではなく、社会環境の側面についても考慮することが重要である。例えば、除排雪体制やインフラの強化など大雪に対する制御能を高めることや、気象予報を活用した計画運休や外出自粛の呼びかけなど曝露人口を抑制することで、雪害のリスクを下げるができる。このような見地から、パソコンに向かって気象データを分析すると同時に、一市民として世の中の動きを観察することも肝要であると思得ている。

さて、しばらくすると夏がやってくる。昨年の夏、ちょうどオリンピックで盛り上がりつつあった頃、札幌は記録的な猛暑(18日連続で30℃以上)だったことを覚えているだろうか…。仕事でも私生活でも天気から目が離せない日々が続く。

2022年度 通常総代会を開催しました

2021年度を振り返り、2022年度の計画と予算を決定しました

総代140名(本人出席8名、書面出席132名)の参加により、全ての議案が賛成多数で可決承認いたしました。

2022年度通常総代会は5月27日(金)開催

議長に小田さん(大学院修士1年)を選出し、坂爪理事長(農学研究院教員)が生協理事会を代表して挨拶をしました。続いて小松常務理事(文学部3年)と小助川専務理事が第1〜7号議案を提案。芳賀監事会議長(先端生命科学研究院教員)が監査報告を行い、直ちに質疑と討論に入りました。昨年と同様に、コロナ禍での開催となり、実出席を保障しながらも極力書面議決書の提出をお願いしました。

事前に寄せられた質問や意見がありましたので、報告書にてご紹介します。理事会からのまとめの後、採決を行い全議案を賛成多数

で可決・承認となりました。また、役員選挙は立候補がなかったため、定数内の理事会推薦者全員の当選が役員選挙管理委員長より報告がされ、下記の役員を確認しました。以上をもって全て議事が終了しました。

2022年度の事業計画

18年から21年度の累積赤字が2億7300万円となり、22年度に繰越すこととなります。22年度は300万円の黒字予算ですが赤字の解消が急務です。改めて組合員の皆様に

「北大生協は、北大の中にある自分たちの生協である」という価値を再確認していただけるように、担っている福利厚生業務の役割を着実に果たしていきます。

アンケートを生かして店舗や食堂で「見える化」を着実に進めます。生協に関わる全ての方が「危機感を共有して」改革を進めていくことが必要です。皆さんの参画で北大生協を再建していきます。



▶ 会場風景



▶ Zoom参加者



坂爪理事長



小助川専務理事



芳賀監事会議長



小松常務理事



小田総代会議長

2022年度の役員名簿

〈理事長(代表理事)〉

坂爪 浩史

〈専務理事(代表理事)〉

小助川 誠

〈理事(事)〉

鏡 秀隆

林 忠一

伊藤 美香

金川 眞行

小籾 隆生

今村 隆央

小川 美香子

原 紀代

小松 慎太郎

田代 直也

高木 暉馬

奥山 莉子

三澤 建成

石本 万象

野呂 香象

逸見 京花

羽木 康祐

〈監事会議長〉

芳賀 永

〈監事〉

岡野 泰樹

浦田 翔吾

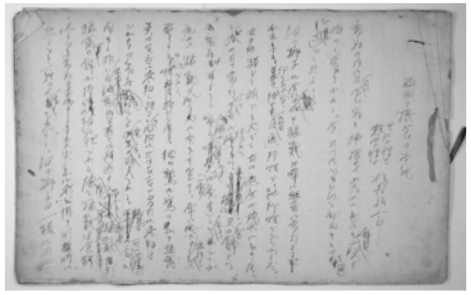
黒川 昇悟

寺西 ほんの花

大学文書館へ 行こう

第10回 「松村松年の足跡を訪ねる」

北海道大学大学文書館 井上 高聡



松村松年自筆原稿「面白き摂食の本能」
(1928年、大学文書館蔵)

虫好きの無頼派

札幌は初夏を迎え、構内のあちこちに花が咲き、モンシロチョウやモンキチョウが飛び交っています。この「モンシロチョウ」、「モンキチョウ」という昆虫の日本名を決めたのは、札幌農学校を卒業し、長く北大の教授を務めた昆虫学者松村松年(一八七二―一九六〇年)です。

松村松年は一八七二年、現在の兵庫県明石市に生まれました。学校そっこのので虫捕りなどに駆け回り、何度も落第する相当にやんちゃな少年だったようです。兄の友人和田健三(札幌農学校卒業生)のすすめで、一八八八年札幌農学校予科に入

学し、本科へと進学します。在学中にも武勇伝に事欠かず、野球や歌留多にも夢中になる無頼派学生でした。一方で昆虫学を本格的に研究し始めます。当時、札幌大通にできたばかりのアーケライトに集まる虫を一匹も逃すまいと自家製の虫網を振るって、昆虫標本を集め、本科一年のときに専門誌『動物学雑誌』に論文「北海道産鞘翅類」を発表しました。一八九五年に提出した卒業論文「二十八星瓢虫及其駆除法」は、最初の著書『書虫駆除全書』(一八九七年)の基となります。卒業後は、研究生を経て札幌農学校助教となり、ドイツ・ハンガリーに留学して帰国した一九〇二年に教授に昇任します。

チンチロリンが松虫

このころ松村は、当時の動物学の重鎮から昆虫の日本名を定めるよう依頼を受け、特にチョウ・ガを中心に取り組みます。近代になるまで、日本では昆虫個々に統一した呼び名はなく、地方で異なりました。例えば、かつて東京と大阪とでは「松虫」と「鈴虫」の呼び名がそれぞれ逆だったそうです。松村は東京の呼び名に合わせて日本名を決定しました。その結果、チンチロリンが「松虫」、リーンリーンが「鈴虫」と決まりました。中学校や高校の古文の授業で、古文に出てくる「松虫」は現在の「鈴虫」、古文の「鈴虫」は現在の「松虫」と教わった記憶はないでしょうか。古文は京都中心の記録なので大阪地方の呼び名、現在は松村の日本名統一に従い、東京地方の呼び名、と考えると合点がいきます。

日本の昆虫学は、昆虫に統一した日本名を付け、国際的な学名と照合し、分類していくところから出発します。松村はその出発点を担った昆虫学のパイオニアでした。以降も松村は、昆虫分類学の分野の第一人者として、新種の発見、昆虫目録・図鑑の編纂、専門書・教科書・啓蒙書の刊行、昆虫学専門英文雑誌『インセクタ・マツムフナー』の発刊と多くの仕事を積み重ねます。

松村松年ゆかりの資料

松村は戦後、その功績から日本学士院会員となり、政府から文化功労者の称号を受けます。昆虫学の泰斗であるにも拘わらず、大学内では今一つ知られていません。けれども、松村ゆかりの資料はあちこちにあります。附属図書館は、先上げした図鑑・著書・雑誌などを多数所蔵しています。さらに松村には評論・随筆も多く、『生物の流転』、『科学者が投じた宗教界への爆弾』、『人間学としての体育』な

ど面白そうな著作があります。総合博物館は、松村が収集した一二万個体を超える昆虫標本「松村コレクション」を収蔵しています。大学文書館には、松村の自筆原稿、自筆の手紙、松村の講義を記録した受講ノートなどを所蔵しています。そして、クラーフ像の斜向かいにある緑色の屋根の建物、「旧昆虫学養蚕学教室」です。一九〇一年建築のこの建物で松村は研究に勤しみました。この建物の北側には石造の「旧昆虫学標本室」(一九二七年建築)が建っています。



札幌農学校生時代の松村松年
(1890年代前半、大学文書館蔵)

松村とゆかりの深い昆虫を探しながら、その足跡を訪ねて散策するのも楽しいと思えます。



標本が並ぶ研究室の松村松年教授 (1910年代、大学文書館蔵)

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



大学で学ぶ意味というのは、意外と見いだしにくいものかもしれません。意味がわからないと、気持ちも続きにくいことでしょう。私の関係する対人支援の領域に関してということ、社会に出て実践経験を積む前に大学で学ぶ意味について、考えてみたいと思います。

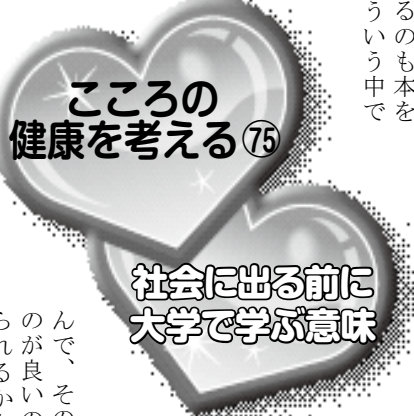
私が北大の教育学部生だった頃、先輩が勤めていた精神病院で心理学的支援の実習をさせてもらえることになりました。当時としては、稀な機会でした。しかし始めてみると、すぐに気がついたのです。大学で勉強したこと、目の前の現実につかぬこと、その頃の私は、なんと「教育学部で最もよく講義に出るオトコ」と言われ、試験の時はよく私の講義ノートが出回っていたのでした。もっとも、べつに成績が良いということもなかったのですが、講義に出るのも本を読むのも結構好きだったのに、そういう中で身につけたつもり知識が、全然目の前にいる人の支援に結びつかない。三か月ほど悩んでいたと思います。そして、とにかく一旦「頭」を捨てよう！と決めたのでした。

何でも経験しようとしませんでした。病院に泊まり込み、患者さんたちの集団カウンセリングを担当させてもらい、夜中に不穏状態になって迎えて来てほしいと家族から連絡がきた患者さんの家に、スタッフと一緒に救急車に乗せてもらって行ったり、関連する法規も今とは違っていて拘束的な意味合いの強かった病院を嫌って抜け出す患者さんを、追いかけてたりもしました。一年に百日近く通った気がします。国際的に有名な精神分析家の弟子であり練達の司法精神科医であった院長先生も、そこで働いていた先輩も、実についていねいに教えてくれました。まあゼミの先生は、「キミは男の約束は守ると言うのか、ずいぶん長く行きますね」と呆れておられました。

でも、そうして自分なりに精一杯実践にひたっているうちに、また気がついてきたことがあります。経験って、積みやあいって

もんじやないんだ。経験を積むうちに、ある所から先には進めない気がしてきたのです。経験を整理して、自分なりによく咀嚼しないと身になっていかないことが、わかってきたというか。そして、そのための手掛かりが、学術研究であり知識なのでした。たとえば、グループ・カウンセリングの中で熟練した先生や先輩と同じ言葉で患者さんに話しかけているのに、どうして自分に対しては全然反応が違うのだろう、という切実な疑問は、米国の精神科医サリヴァンが、精神医学的面接は言語的 verbal なコミュニケーションではない、音声的 vocal なコミュニケーションだ、と言っているのを知ったとき、氷解しました。そうか！やっぱり声が違うんだ！と。

経験を積んでいけるだけには限界が来るということからは、後に教育、看護、保育といった他の対人支援領域の方々と話してみても、同じように感じておられるようでした。



ここにも問題があるように思います。もし、生活を賭けて、職業として全面的に実践にたずさわったとすると、必死で取り組むことでしようし、その中で多くの経験をjして、成長はするでしょう。しかし、半面、柔軟性と興味関心の幅が少なくなってしまうように思います。社会人学生の方は皆さん、非常に熱心に講義を聴講されますが、レポートに講義内容が反映される度合いが、どうも低目のように感じられる場合が結構あるのです。学生で、若くて、実際の経験が乏しくて、だからこそ得られるものがあると、私は思っています。

それで、まずは実践経験を積むのが良いのではないかと考えられるかもしれません。でも、

それなら、まずは実践経験を積むのが良いのではないかと考えられるかもしれません。でも、

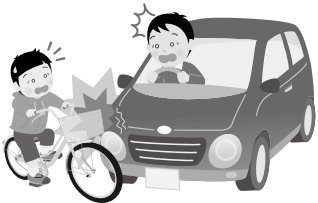
経験は積んでいけるだけには限界が来るということからは、後に教育、看護、保育といった他の対人支援領域の方々と話してみても、同じように感じておられるようでした。

新年度・新学期が始まりました。生活に変化がある時期です。北海道は雪が融けて外での活動が活発になる時期でもあります。「転動のため、車通勤から電車通勤になった」「子どもが独立した、マイホームを購入した、自転車で通学することになった」「車の免許を取得した」などの生活に変化がないでしょうか。家族のけがや賠償のリスクに備えて、損害保険の補償を見直すいい機会です。

自動車保険は、運転する方の範囲(本人限定、夫婦限定、限定なし)、年齢条件(全年齢、21歳以上、26歳以上、35歳以上)、使用目的(日常レジャー、通学通勤)により保険料が変わります。保険料が高くなる場合もありますが、しっかり保険が適用されることが大事です。バイク保険は、運転しない冬は補償を下げた保険料を抑える(春になったら補償を戻す)と思います。

自転車事故に備えて、賠償保険と傷害保険を確認しましょう。自転車運転中に他人にけがをさせたときの損害賠償額が数千円に上ることがあります(お子さんの事故は親が監督者として責任を問われる場合があります)。個人賠償責任保険は、自動車保険または火災保険の特約として一つの家庭に一つ加入していれば大丈夫です。自今冬は大雪でしたので、雪による建物の損壊の有無を確認しましょう。屋根や壁、物置など損害はないでしょうか。損害状況と合わせて契約している補償を保険会社に問い合わせてみましょう。保険会社に連絡する前に問題のある住宅修理業者や保険金請求代行業者と契約してしまうと、保険金が支払われないばかりか、高額な解約手数料を要求されるなどのトラブルや詐欺に巻き込まれてしまう場合があります。結構多く発生していますので要注意です。

身近な損害保険代理店に相談してみましょう。



ほけんのお話

Vol. 30

クランク書籍便り Vol.09

2022年本屋大賞の「同志少女よ、敵を撃て」が第1位！ランクインはしていませんが、同じ独ソ戦争を描いた通史「独ソ戦争～絶滅戦争の惨禍」(岩波新書)と、参戦したソ連従軍女性たちの声を丹念に発掘した記録文学の傑作「戦争は女の顔をしていない」(岩波現代文庫)もぜひ一読を！「世界一美味しい手抜きごはん」は料理初心者におススメ。サブタイトルの「最速!やる気のいらない100レシピ」がどれも1ページの工程で出来ちゃいます。これだったら私でも作れるかも・・・

クランク4月一般書ランキング

	書名	著者名	出版社		書名	著者名	出版社
1	同志少女よ、敵を撃て	逢坂冬馬	早川書房	6	正欲	朝井リョウ	新潮社
2	四畳半タイムマシンブルース	森見登美彦	KADOKAWA	7	中国文学をつまみ食い	武田雅哉	ミネルヴァ書房
3	世界一美味しい手抜きごはん	はらぺこグリズリー	KADOKAWA	8	新夏山ガイド 1	長谷川哲	北海道新聞社
4	マカン・マラン	古内一絵	中央公論新社	9	北海道大学もうひとつのキャンパスマップ	北大ACMプロジェクト	寿郎社
5	料理と利他	土井善晴	ミシマ社	10	大人の語彙力ノート	齋藤孝(教育学)	SBクリエイティブ

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■履修相談会MANAVIを実施しました。

4月9日・10日に高等教育推進機構にて、履修相談会MANAVI「全体説明会」を行いました。履修登録の基本を解説したうえで、1年生の質問に答えました。2日間で約2000人の新入生が参加してくれました。



▲当日の様子

■新入生歓迎活動を実施しました。

新入生歓迎活動を行いました。新入生の友達作りの場として「オンライン春友祭」を実施した他、新入委員獲得のために学生委員会の説明会を行いました。オンライン春友祭は320人ほどの申し込みがありました。

■学生委員会公式HP、Twitter

<https://hokudai-coop-gi.com/>
@HU_COOP_GI_CS

学生委員会の活動や学生委員の日の様子など、学生委員会のことについて詳しく知りたい方は、公式HP、Twitterをどうぞご覧ください。

■学生委員会連絡先

gakusei@coop.hokudai.ac.jp

学生委員会に意見・質問のある方は、こちらのメールアドレスにご連絡ください。

これからも学生委員会をよろしくお願います!!

院生委員会

■新入院生歓迎会実施!

4月2日に新入大学院生を対象とした歓迎会をオンラインで実施しました。今回は例年よりも多く参加者を集め、文系理系を問わず30人以上が集まる会となりました。トークセッションでは先輩による研究生生活の紹介や大学院共通科目、新渡戸カレッジなど、実際に体験した人にしか聞けない貴重な話をお聞きすることができました。また、交流会終了後も自発的に残って交流を続ける学生たちが見受けられ、入学後の友人作りの場として活用してもらえたようです。

参加してくださった皆さん、ありがとうございました!

院生委員会ではイベント企画のアイデアを随時募集しています。

「こんなイベントあったらいいな」と思ったらぜひ左記のアドレスまたはTwitterからご連絡ください!



■院生委員会公式Twitter

@Hokudainsei_coo

世の中のたくさんの情報の中から北大の大学院生にかかわる情報を発信しています。私たちが企画した大学院生向けのイベント情報なども発信していきます。大学院生や大学院進学予定の学部生のみなさんはぜひご覧ください。

■院生委員会連絡先

hokudai_insei@coop.hokudai.ac.jp

現在、院生委員会では新年度を迎えるにあたり、学生の皆さんにどのような活動・サポートをしていけるか検討しています。困っていることや要望があればぜひご連絡ください。

教職員委員会

■教職員総代会議...5月10日と11日に開催した総代会議では、4月の営業報告と総代会開催について報告がされました。フォトコンテストの実施についても共有されました。教職員の出資金についての意見や食堂の混雑状況について意見が出されました。

■教職員委員会...5月21日に定例会議を開催しています。「きぼうの虹」の編集やフォトコンテストのポスターについて、総代会議の運営についてなどを話し合いました。

教職員組織委員会では、組織委員を募集しています。月1回の定例会議を中心に活動をしています。教職員総代と理事会をつなぐ役割を担っています。興味のある方は、理事会までメールでお問い合わせください。

■「きぼうの虹」...この冊子です。教職員委員会が編集し偶数月に発行しています。

【編集後記】

コロナウイルスによる大学生活は完全に回復したわけではありませんが、対面授業が再開され、学生や教職員のみなさんが大学に來られるようになり大学内の活気が戻ってきたように思います。やはり、人との交流は大切だと改めて感じます。その一方でウクライナ情勢による世界の混乱は、エネルギー問題や食糧問題にまで発展しています。毎日の暮らしの中で、「あれ、この商品値上がりしてる」と目につくことが多くありました。教職員委員会では少しでも皆さんを元気づけようと今年もフォトコンテストの開催を決定いたしました。みなさま、奮ってご参加ください!

北大生協『きぼうの虹』フォトコンテスト

テーマ「北大百景 2022」～ Tomorrow will be better! ～

たくさんのエントリーをお待ちしています。

作品募集!

募集期間

2022

7/1^金～8/26^金



特選1名、入選5名

副賞：北大生協電子マネー

特選 5,000円・入選 2,000円



応募要項

- ①参加資格：北大生協組合員であること
- ②募集期間：2022年 7月1日(金)～8月26日(金)
- ③賞：特選1名、入選5名
- ④副賞：北大生協電子マネー (特選 5,000円分、入選 2,000円分)
- ⑤応募方法：お一人様1点に限らせていただきます
(1) Web サイトから応募
(2) 投稿フォームに必要事項登録の上ファイル(投稿写真、jpg)を添付してください
(3) 画像ファイルは5MB以内(デジタルカメラ・スマートフォン等の媒体は問いません)
(4) 北海道大学および北海道大学生協に関するモノであること

- ⑥結果発表：
教職員組織委員会機関誌「きぼうの虹」およびホームページで発表
なお、入選された作品の応募者の所属と氏名を掲載させていただきます

- ⑦注意事項：
応募作品に関する著作権及びそれと同等の権利は、応募者に帰属します。被写体に人物が含まれる場合、応募者本人の責任において事前に被写体の承諾を得る等、肖像権等の侵害の問題が生じないことを応募の条件とします。
北大生協は、全応募作品を応募者の承諾を要することなく無償で使用する権利を有しま

す。以下の内容で応募作品を無償で使用する場合があります。

- 1) 各種出版物・広報宣伝物への掲載(機関誌、各種冊子、SNS、ホームページ等)
- 2) 北海道大学の広報。誘致活動への利用の要望に対しての貸出
- 3) 営利以外の目的で二次利用(複製、加工、上映、頒布)できるものとします
- 4) 商用利用(カレンダー等)も、無償で使用します

本フォトコンテストにご応募いただいた時点で、この規約にご同意いただいたものとみなします
必ず、応募要項をご確認ください

⑧お問い合わせ先：

北海道大学生協同組合 理事会室
TEL：011-746-6218 (平日) 10:00～17:00
E-mail：seikyout@coop.hokudai.ac.jp



応募はこちらから →

北大生協 フォトコン 2022

検索

主催：北大生協教職員委員会